

令和6年度援護関係予算概算要求の主要事項

	【5年度予算】	【6年度概算要求】
援護関係予算総額	18,465百万円	→ 18,696百万円
1 援護年金	3,569百万円	→ 3,124百万円
	(受給人員 2,161人 → 1,792人)	
2 各種特別給付金・特別弔慰金の支給	754百万円	→ 800百万円
〈支給対象件数〉	・戦没者等の妻に対する特別給付金 約5,500人	
3 遺骨収集事業等の推進	3,323百万円	→ 3,621百万円
(1) 遺骨収集事業	2,601百万円	→ 2,809百万円
ア 硫黄島における遺骨収集事業	1,512百万円	→ 1,512百万円
イ 海外等における遺骨収集事業	933百万円	→ 1,140百万円
ウ 法人運営経費	156百万円	→ 157百万円
(2) 海外公文書館の資料収集	17百万円	→ 17百万円
(3) 遺骨の鑑定	667百万円	→ 758百万円
ア 手掛かり情報のない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定	245百万円	→ 245百万円
イ 戦没者遺骨の鑑定技術の研究・実用化検討	280百万円	→ 284百万円
ウ 分析施設（ラボ）における鑑定実施	136百万円	→ 223百万円
エ 会議開催経費・事務費等	6百万円	→ 6百万円
(4) 遺骨・遺留品の伝達	38百万円	→ 37百万円

4 戦没者慰霊事業等	632百万円	→	660百万円
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費	197百万円	→	199百万円
(2) 慰霊巡拝等	435百万円	→	461百万円
ア 慰霊巡拝	104百万円	→	104百万円
イ 政府建立慰霊碑の補修等	54百万円	→	53百万円
ウ 海外・国内民間慰霊碑の管理	19百万円	→	19百万円
(ア) 海外民間建立慰霊碑	10百万円	→	10百万円
(イ) 国内民間建立慰霊碑	9百万円	→	9百万円
エ 慰霊友好親善事業	259百万円	→	259百万円
オ 平和の語り部事業	0百万円	→	25百万円
5 昭和館・しょうけい館事業	643百万円	→	706百万円
(1) 昭和館	469百万円	→	518百万円
(2) しょうけい館	174百万円	→	188百万円
6 中国残留邦人等の援護等	9,192百万円	→	9,357百万円
(1) 中国残留邦人等に対する支援等	9,045百万円	→	9,203百万円
ア 支援給付の実施等	9,004百万円	→	9,161百万円
イ 中国残留邦人等の介護に係る環境整備	41百万円	→	41百万円
(2) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	107百万円	→	107百万円
(3) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	39百万円	→	47百万円

※ 百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。

※ 令和5年度予算及び令和6年度概算要求額は、デジタル庁計上分を含む。